

# 豊橋市議会傍聴記 ①

地方政治 クリエイト **伊藤 秀昭**

◎国保負担軽減  
鈴木みさ子氏(共産)は、国民健康保険がセーフティネット機能を果たしているとした上で、年間所得200万円以下が国民の8割を占めている中、重い国保税の負担が新たな貧困を生み出す大きな要因となっているとして、均等割りにおける子ども減免制度などについて聞いた。

◎障害者差別解消法  
尾林伸治氏(公明)は来年4月から施行になる「障害者差別解消法」について、障害者の差別解消に向けた支援体制などについて聞いた。

◎地域防災力  
9月1日が「防災の日」であり、19

副市長が答弁に立ち「国保事業の減免のあり方については様々な支援措置を講じており、3年後の国保の都道府県化の協議の中で検討・整理していくとした。」「障害者差別解消法」は来年4月から施行になる「障害者差別解消法」について、障害者の差別解消に向けた支援体制などについて聞いた。ことども未来部長は「障害者が不当な差別的取り扱いがないようパンフレットなどを作成し、啓発に努めている。またそれぞれ地域全体で差別解消に向けた協議会が機能するよう準備している」などと答えた。尾林氏は、法制度

の変更に伴い行ったアンケートから、障害の違による対応のあり方などについて、特に外見で見えにくい知的障害などについて細かく対応していくよう要請した。

◎地域防災力  
9月1日が「防災の日」であり、19

うのは消防団であるとして、将来の地域防災を担う若者に注目を期待し、「学生消防団活動認証制度」についても言及したが、肝心の豊橋の大学生たちの思いはど

うなのか、夏の間に学生たちの声を集約して、組み立てていただきたいテーマであった。

23年の関東大震災を後世に伝えるとともに、防災体制の充実強化を期すために制定されたことから、地域防災力の向上について問題提起したのは沢田都史子氏(公明)。

水で全国有数の農業王国を築いた近藤寿市郎、製糸業の礎を築いた小淵志ちについて、偉人を生かした教育とまちづくりについて論じた。

◎森林資源  
「日本は森の国、木の国です」と教科書の一節から質問を始めた。

◎入札制度  
「一生懸命努力する正直者が救われる政治」を入札制度から斬りこむ寺本泰之氏(紘基会)は、今回も入札価格が低いだけで失格にする最低制限価格及び失格判断基準制度を廃止して、企業努力によ

る低入札が認められる一般競争入札制度に改める考えはないかと迫った。

地域において、防災の中心的役割を担



寺本氏からは毎回、同じ質問が同じ角度からなされるが、そろそろ質問の角度を変えるべきではないか。

「議員は、市民全体の代表者である」との議員としての心構えを基本に、未来を志向し、市民の声を政策に創り上げていく議論の展開を期待したい。

## 現場から未来を志向し、政策を語れ